

扶養に関する申立書

記入日：令和 年 月 日

認定を受けようとする者 被扶養者氏名(続柄) に係る状況について、
次のとおり事実相違なく、主として組合員の収入により生計を維持していることを申し立てます。
なお、申立事実に誤りや変更が生じ、被扶養者の認定が遡って取消となった場合は、取消日以降の、医療費を返還することに異存はありません。

組合員
番号

組合員
氏名

1. 組合員との同居確認

認定を受けようとする者は、組合員と（同居・別居）している。

別居の場合、その理由を具体的に記入してください。

2. 認定を受けようとする者の就労能力、今後の収入見込状況(該当するものを○囲み)

◇ 就労能力（無・有）

◇ 収入の見込み（無・有） ※「有」の場合、下記もご記入ください。

・ 年金・恩給等の受給（無・有）	年間	円
・ 雇用保険受給（無・有）	日額	円
・ パート・アルバイト等による収入（無・有）	年間	円
・ その他 _____ による収入	年間	円

3. 扶養手当等の受給状況

組合員以外の者が、扶養手当又はこれに類する手当を受給して（いる・いない）

→ 受給している場合、被扶養者として認定されません。

※ご確認ください

認定時に受給していない旨申し立てを行い、認定後、扶養状況の変更により他の者が扶養手当又はこれに類する手当を受給した場合は、認定取り消しとなります。

扶 養 に 関 す る 申 立 書

4. 共同扶養者・扶養義務者の有無

認定を受けようとする者には、組合員以外の共同扶養者又は扶養義務者が（ いる ・ いない ）
「いる」と回答 → 下表に記載（協議書に記載した者は全員記載すること）

共同扶養者または組合員以外の扶養義務者の状況

氏名	続柄	同居・別居	年間収入額
			円
			円
			円
			円
			円

【共同扶養者及び扶養義務者とは？】

※組合員を中心とした表現

子の認定 → 組合員及び配偶者。

父母の認定 → 母の場合父。父の場合母。

父母が相互に扶養出来ない場合は父母の子全員。

兄弟姉妹の認定 → 父母。父母が扶養出来ない場合は兄弟全員。

5. 組合員が扶養(生計維持)しなければならない具体的な理由

(他の共同扶養者又は扶養義務者が扶養できない理由など、詳細に記入すること)
